

南都修太郎 みなみやう 小説家。明治二十五年十月十日、白宮城縣生れ、昭和十一年八月二十一日歿（一九二一九三）。筆名南修。大正六年慶應義塾大學文學科卒。翌年東京外國語學露語專修科に學ぶ。雑誌『三田文學』編輯、二年のち『文筆生活』。

著書『修道院の秋』（大正九年一月）『三田新潮社「新進作家叢書」』

『湖水の上』（大正十年十月十六日新潮社）、『返らぬ春』（大正十

二年四月十日三田文社出版部。再刊・昭和四年七月二十日大阪・近代

文藝社出版部）、『若き入獄者の手記』（大正十二年二月五日文興

院）、『三田文學選』（合著・三田文學會編、大正十二年十一月五日

高陽堂「現代作品選集」）、『寫龍』（大正十四年八月十日寶文館）、

『月光の曲』（昭和二年七月十日寶文館）、『白蘭花―外六篇』（昭

和五年一月十日三田文社「令女文學全集」）、『南都修太郎集』、『昭

和五年一月十日三田文社「新進傑作小説全集」）等。